

<1>4ます連算計算大会で出題される

わっさん(和差積商一本方式)の解き方

□に+、-、×、÷をいれた計算の答えを横にかきます。

頭の中で、式をイメージします。7と1はたすと8、ひくと6、かけると7、わると7と唱えてもいいで

順番	算式				和 +	差 -	積 ×	商 ÷
13	7	□	1	=	7+1= 8	7-1= 6	7×1= 7	7÷1= 7
14	6	□	2	=	8	4	12	3
15	5	□	3	=	8	2	15	5/3
16	4	□	4	=	8	0	16	
17	8	□	1	=				

帯分数にしません。仮分数(分子が分母より大きい分数)のままです。約分はします。

順番・・・じゅんばんはんはもんだいにばんごう(なまえをつけているのとおなじ)をつけるためにしています。

難易・・・むずかしいかかんたんかがすぐわかるようにつけています。

算式・・・さんしき、計算式のことです。 □には+、-、×、÷を想像していれます。

=は「は」とよみますが、中学からは「イコール」とよみます。等号の左がわと右がわは同じです。

和・・・「わ」とよみます。数+数、たしざんのこたえのこと。

差・・・「さ」とよみます。数-数、ひきざんのこたえのこと。

積・・・「せき」とよみます。数×数、かけざんのこたえのこと。

商・・・「しょう」とよみます。数÷数、わりざんのこたえのこと。

※計算大会すぎなみKids杯では、商の答えは仮分数で。

約分はします。帯分数、小数は使いません。

約分とは、分数の分子と分母を0でない同じ数でわって簡単にすることです。

$$7 \div 1 = \frac{7}{1}$$

分母が1のときは分母と一をなくせます。7÷1=7 となります。

$$\frac{6}{2} \rightarrow 6 \div 2 = 3 \quad \text{どちらも2でわれるので}$$

$$\frac{4}{2} \rightarrow 4 \div 2 = 2$$

$$\frac{3}{2} \rightarrow 3 \div 2 = 1\frac{1}{2}$$

約分の説明

例: $6 \div 4$ 仮分数(約分まで): $\frac{3}{2}$ 帯分数: $1\frac{1}{2}$ 小数: 1.5

<2> 4ます連算計算大会ルール

○和差積商の問題を各250問、合計1000問用意します。解答時間は20分です。

○1問1点で正解数を競います。どの問題から解いても構いません。たし算だけ、ひき算だけ・・・などの解答もできます。

○出題形式はわっさん(和差積商一本方式)です。

○出題範囲は以下の小学校の算数で中学高校でも使う最低限の計算範囲です。

出題範囲 たして20になる組み合わせと11から20までと25と60の倍数と累乗

出題範囲の問題をすぎなみKidsサイトにて公開しています。

この中の問題が並び順を変えて出題されます。一部、同じ問題が出題されます。

URL: 問題 http://suginamikids.com/pdf/4masu_mondai.pdf

解答 http://suginamikids.com/pdf/4masu_kaito.pdf

これ以上の数は中学・高校ではあまり出てきません。25はかけて100になる数、60は時間の計算でよく出てくる数です。

○わり算の答えは、約分し整数、仮分数で解答します。小数、帯分数にはしません。(中学高校で仮分数をよく使うため。)

わっさん計算大会のルールとして、約分ができていない仮分数、帯分数や小数は答えが正しくても得点になりません。

○分数は 分子/分母 で書いてください。上に分子、下に分母を書いてもいいです。

○ $3/2$ ○ $\frac{3}{2}$

○間違えたときは線をひいて正しい答えを書きます。消しゴムで消して書き直しても構いません。

◎すぎなみKidsは杉並区の母親が主体となって運営している団体です。「家族や友達と楽しく計算をすることで、

子どもたちに算数の魅力を伝えられる地域に根差した大会」を目指して本大会を開催しています。